

ID 001186

# 20年後・30年後の高槻のために 「みらい創生」の取り組み

少子高齢化による人口減少や公共施設の老朽化など、自治体の将来には多くの課題があります。高槻市では、課題に今から対応するため、将来を見据えた、「みらい創生」という取り組みを進めています。「みらい創生」とはどんな取り組みなのか、久々の登場のみらいちゃんと、はにたんが分かりやすく解説します。

※数値データやグラフなどの出典は市ホームページへ

問 みらい創生室 / Tel.674-7392



みらいちゃん

平成30年7月号コラム「おしえてみらい創生」に初登場。未来から来た物知りな女の子

## 将来の高槻市はどうなる？

1 人口も少なくなるし施設も古くなって建て替えが必要…

2 対策も進めているって言うけどどうなるのかな… 不安

3 心配しているだけではだめ！ はにたんひさしさん！

4 30年後のまちのことを考えた「みらい創生」の取り組みはすでに効果も出てきているよ

## 「みらい創生」とは 明るい将来に向かうための道しるべ

現在の高槻市は、問題なくお金のやりくりができています。だけど、今が良いならそれでいい！という考えでは、将来がとても不安です。それは、これから高槻市にはいろいろな課題が予想されているから。今、対策をしないと、まちの将来にも影響が出る可能性もあります。



はにたん  
高槻市  
マスコットキャラクター

20年後、30年後も、高槻市が魅力あるまちで、住んでいる人も、安心して暮らすことができるよう、「みらい創生」は始められました。明るい将来を迎えるため、これから取り組むまちづくりの方針を示した道しるべのようなものです。

これからの課題

- 人口減少 ●高齢化
- 公共施設の老朽化

課題解決のために

「みらいのための経営革新」に向けた改革方針を策定

将来に向けた改革を推進

- 財政面の充実
- 魅力あるまちづくり

まちの持続的な成長に

## 財政面を充実させる3つの改革を実行

未来に向けて魅力あるまちづくりを進めていくために、財政を充実させる改革が一番重要と考えて、次の3つの改革に取り組んでいます。取り組みを始めて5年経った今、すでに効果も出ています。次のページからは、取り組んだ内容について、財政面とまちづくり面の両方から、紹介していきます。

3年間の効果  
(令和元年度～3年度)  
約45億円

1. 歳入改革  
約29億5,900万円

2. 歳出改革  
約13億600万円

3. 公営企業・外郭団体改革  
約2億8,700万円

### 変革の必要性が高い状況

市は、昭和40年代に人口急増を経験したことから、今後、急激な高齢化に伴う社会保障関係費の増大や公共施設の老朽化対策など、さまざまな課題が想定されています。他市と比較しても変革の必

要性・重要性・緊急性が高い状況にあります。

市では、将来にわたり持続可能な行財政運営を進めるため、財政の健全性が保たれている今のうちから市政運営の在り方を見直し、20年後、30年後の未来に向けたまちづくりを進めようとしています。

### 答申を受け改革方針策定

平成28年に受けた「みらい創生審議会」からの答申を踏まえ、平成29年9月に「『みらいのための経営革新』に向けた改革方針」を策定。以降、「みらい創生」の取り組みを推進してきました。

### 改革方針のコンセプト

3つの改革の取り組みを進めることで、**財政面の充実**を図り、同時に、まちの魅力・評価を高める取り組みを推進することで、**持続的な成長**につなげていくことが目標です。

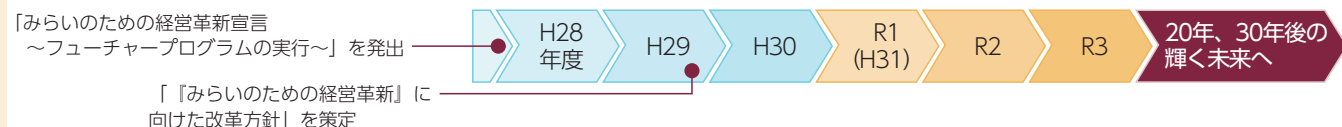
#### 基本テーマ

- 市民が健康で生き生きと暮らす
- 誰もが住みやすい高槻市を目指す
- 「強い財政」、「強い組織」を実現し市民と協働した「輝く未来」をつくる

#### 4つの考え方

- [1] 未来志向の魅力あるまちづくり
- [2] 事業自体の必要性、公民の役割の検証
- [3] 生産性の向上
- [4] 相対的な世代間バランスの調整

※基本テーマと4つの考え方に沿って、財政面における「3つの改革（上記）」と「具体的方向（14・15ページ）」を設定しています





成果 財政編

新しい財源を生み出したり、人件費を抑制したり、効果が今後

も続くものに積極的に取り組みました

### 1. 歳入改革

効果額 約29億5,900万円

#### 新しい財源を生み出す

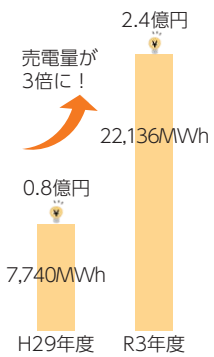
約14億3,900万円

今ある資産を有効に活用し、広告事業など新たな収入源となる取り組みを進めたり、ふるさと納税制度を活用し、寄附の募集に取り組んだりしてきました。

##### ■ごみ焼却時の熱エネルギーで発電



ごみ焼却施設・エネルギーセンター第三工場が令和元年に移働。第二工場と2カ所で発電できる体制に



##### ■ネーミングライツ（命名権）を積極的に活用

※芸術文化劇場の収入は令和5年3月の開館以降のため効果額には含まず



安満遺跡公園のSAKURA広場



高槻城公園芸術文化劇場のトリシマホール

##### ■ふるさと納税制度を活用

H26年度 件数 26件 金額 0.6億円	R3年度 件数 8,129件 金額 7.4億円
-----------------------------	-------------------------------

高槻城公園芸術文化劇場の整備、本市への関西将棋会館の移転支援などに、ふるさと納税制度を活用し、たくさんの寄附が集まりました。

#### 財産をうまく活用

約11億9,200万円

まちのにぎわいにつながることや、子育てや医療のサービスが良くなるよう、土地を売ったり、貸したりして、市が持っている財産を活用しました。

##### ■市の土地を処分・活用する



例えば…

- 保育所・幼稚園を民間運営の認定こども園に
- 高槻駅北自転車駐車場をホテル事業用地に
- 弁天駐車場を夜間休日応急診療所の移転先に

##### ■安満遺跡公園内に民間のカフェやレストラン、ショップなどを誘致して、使用料収入が増える

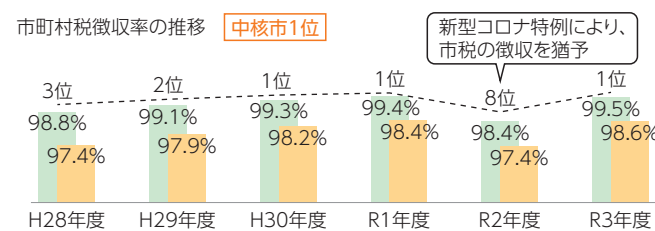


#### 税収を増やす

約3億2,800万円

課税対象を的確に把握して、適正に徴収しています。また企業などを積極的に誘致して、産業の活性化とともに、税収増につなげました。

##### ■市税の徴収率は高水準を維持



##### ■市内の企業が増えて税収がUP



### 2. 歳出改革

効果額 約13億600万円

#### 職員の人件費抑制と最適な人員配置

約3億円

少人数で効率的な人員体制による、業務の効率化を進めました。

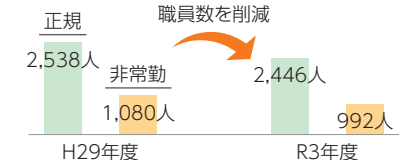
##### ■働き方を見直すことなどで、残業時間を削減

一般職の残業時間 (単位：時間)		
年度	H29年度	R3年度
時間数	312,200	290,600
H28年度比較	▲23,600	▲42,500



##### ■少数精鋭の体制を目指し、業務のさらなる効率化を推進

※効果額には含まず



#### 新たな技術や手法でコスト削減

約6億7,400万円

光熱費など経常的にかかるものを見直しました。

##### ■街路灯のLED化を進めて、維持管理費を削減

市管理の街路灯LED化率		
H30年度	49.9%	R3年度
		94.8%

##### ■価格や環境負荷に配慮し、公共施設の光熱費を削減

#### 民間の力を生かす

約3億3,100万円

民間がサービスを提供してる分野は事業を委託したり、施設運営などに民間のノウハウや技術力を活用したりしました。

##### ■保育所・幼稚園の認定こども園化により、運営経費を削減

##### ■総合センターの空調や照明機器の更新にESCO事業を取り入れ、費用・光熱水費を削減

##### ■総合スポーツセンター、萩谷総合公園、古曽部防災公園の運営を民間委託 ※令和4年度以降のため効果額には含まず

### 3. 公営企業・外郭団体改革

効果額 約2億8,700万円

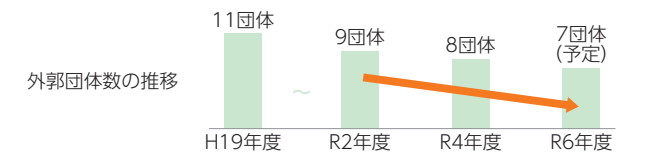
効率的な経営を目指して、事業の見直しを進めました。

##### ■市営バスの広告料収入などが増える



##### ■外郭団体の在り方を見直して、統廃合を実施

- 社会福祉協議会×社会福祉事業団
  - 文化振興事業団×みどりスポーツ振興事業団
- ※令和4年度のため効果額には含まず



##### ■水洗化率の向上により、下水道使用料収入が増える





成果 まちづくり編

住みやすい、訪れたいまちを目指して、まちの成長につながる

医療・健康

安心して医療が受けられたり、健康な状態で長く生活できたりするよう取り組みを積極的に進めました。

体力向上や寝たきり防止のために、介護予防やフレイル予防の体操などをたくさん実施しました。



- 健幸ポイント事業  
年間約**5,100人**参加 (R3年度)
- ますます元気体操・もてもて筋力アップ体操  
年間約**7,100人**参加 (R3年度)



R3年度市内搬送率 **96.4%**

救急医療がスムーズに受けられるよう体制を整備。全国的にも高い市内搬送率です。

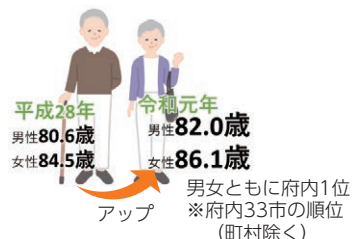
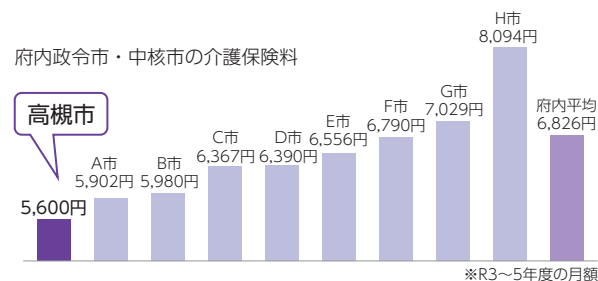
がん検診受診率 (R2年度)

府平均		高槻市
4.1%	肺がん	9.8%
4.7%	大腸がん	7.6%
4.2%	胃がん	6.6%
15.3%	子宮頸がん	23.6%
13.2%	乳がん	16.0%

多くの人が受診できるように、がん検診を無料に。受診率は府平均を上回っています。

府内政令市・中核市の介護保険料

介護保険料は府内政令市、中核市で最低額になっています。



さまざまな取り組みを実施し、健康寿命 (介護が必要になるまでの年齢) が伸びています。

安全・安心

安全・安心に暮らせるために、自然災害や防犯、交通安全の対策にも積極的に取り組みました。



防災訓練を定期的に行っていて、たくさんの方が参加しています。



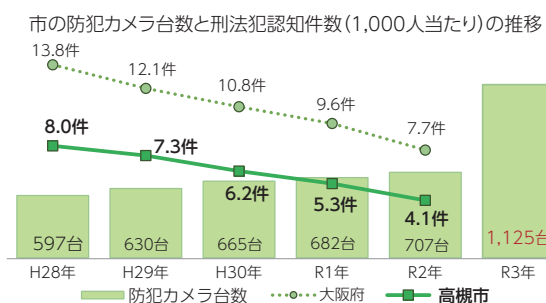
安満遺跡公園内雨水貯留施設

水害を防ぐために、中心市街地に雨水を貯める施設を整備しました。

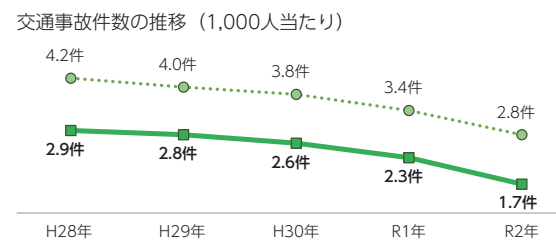


学校園施設の耐震化

地震に強いまちを目指し、建物の耐震化を進めています。小・中学校は完了、公共施設もほぼ完了。民間の建物も補助していて、補助実績は、府内でもトップクラスです。



通学路や市街地に設置する防犯カメラを増やしました。犯罪件数も減ってきました。

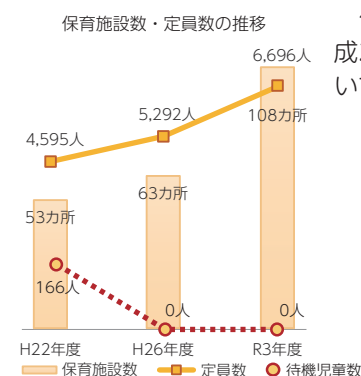


交通安全教育や街頭啓発、自転車専用の道路を整備するなど交通安全対策も進めています。事故件数も減ってきています。

ことに取り組みました

子育て・教育

子どもたちが健やかに成長していけるよう、出産・育児のサービスや学校教育の取り組みを充実させてきました。



保育所の定員を増やして、平成26年度から待機児童ゼロが続いています。



平成31年4月に安満遺跡公園横に、子ども未来館を開設。健診や子育て相談が気軽にできるようになりました。



子どもの医療費助成は18歳まで受けられます。所得制限もないから、みんな安心。

妊婦健診の費用は12万円分まで助成しています。不妊治療にはいち早く所得制限を撤廃し、不育症治療は府内初の助成を実施。出産しやすい環境を整えてきました。



中学校でも平成26年から給食を開始。今年度からは無料になりました。



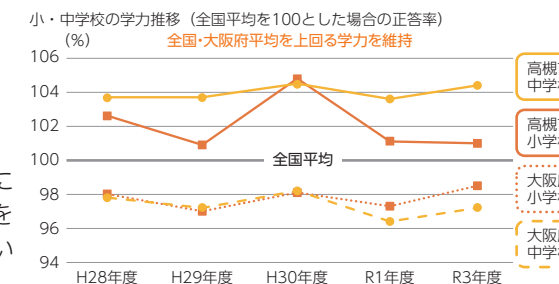
小・中学校の9年間を通して、子どもたちが学べる小中一貫教育を全校で実施。また全ての児童・生徒にタブレットパソコンを整備しました。



35人の少人数学級

全国や府よりも早い平成25年度から、小学校の全学年で35人学級編制を実施。来年度には中学校全学年でも実施します。

さまざまな取り組みにより、全国や府の平均を上回る学力を維持しています。



市民協働と観光・産業振興

市民活動を応援したり、観光・産業を盛り上げたりして、活気あるまちづくりを進めました。

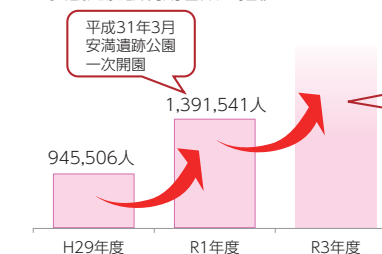
市民団体との協働事業を積極的に進めています。NPO法人や市民公益活動サポートセンターの登録団体数も平成28年から2割増えました。



NPO協働フェスタ

市内の観光施設を利用する人も増えています。

主要観光施設利用者数の推移

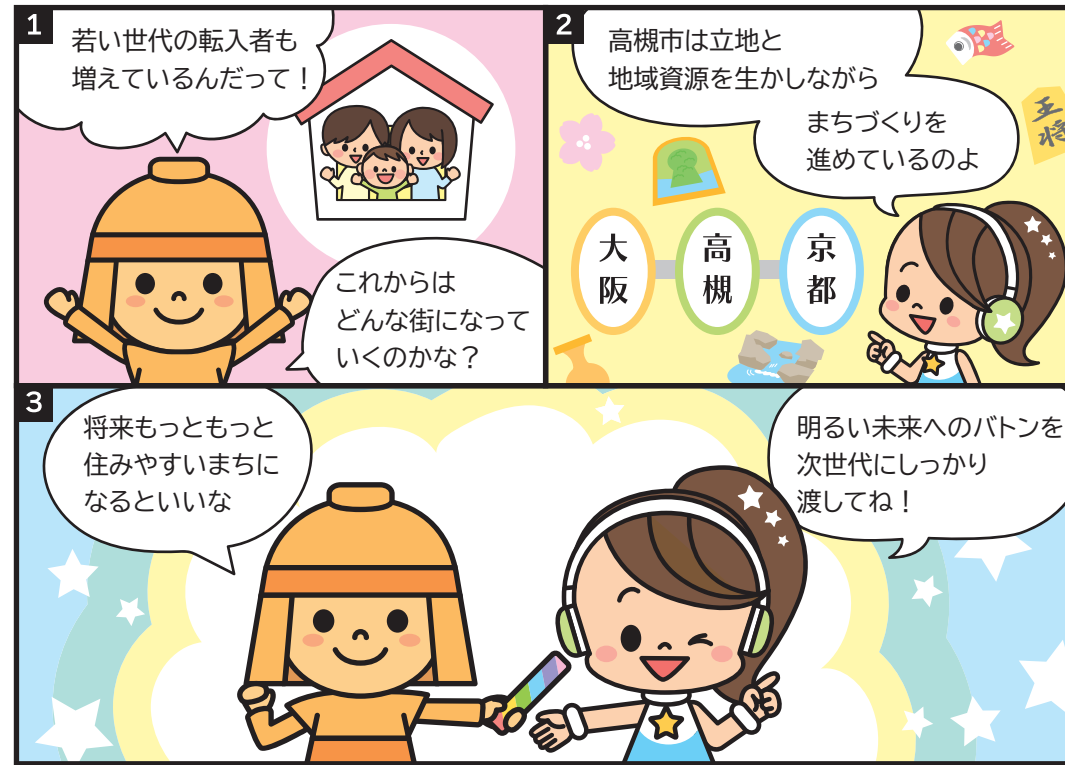


令和3年3月 安満遺跡公園 全面開園



# 未来に向かって もっと住みやすいまちへ

明るい未来へのバトン



## 明るい未来を引き継ぐために これから考えていること

次の世代へ、明るい未来を引き継いでいくためには、まちづくりのハード・ソフトの両面で、効果的に投資をしていくことが大切です。20年後、30年後を見据えて、魅力あるまちづくりをしっかりと進めていかなければなりません。

輝く未来を創造するのは、高槻で活躍する企業の皆さん、そして高槻で暮らす市民の皆さんです。みんなで協力して、一緒に取り組んでいきましょう！



産婦の健診費用の助成スタート (10月)



たかつき電子図書館スタート (11月)



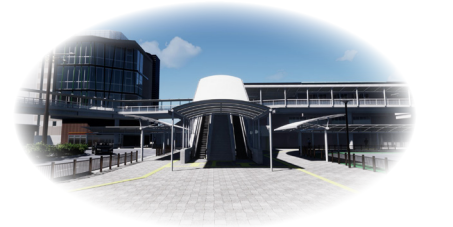
高槻城公園芸術文化劇場が開館 (来年3月)



高槻島本夜間休日応急診療所が新築移転 (来年4月)



関西将棋会館が高槻市に移転 (令和5年度)

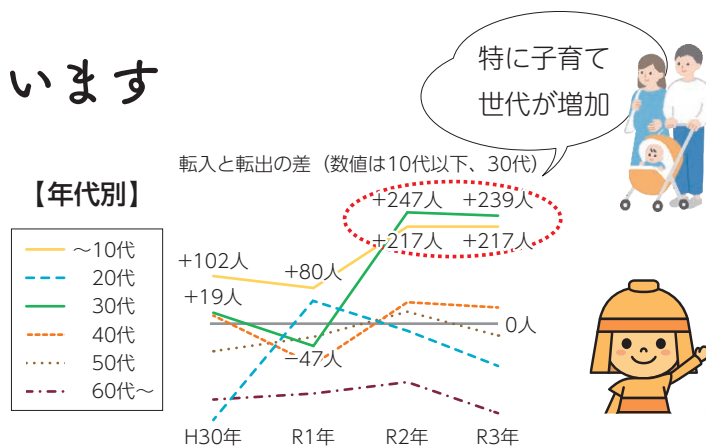


JR高槻駅北駅前広場の整備 (来年3月完了予定)

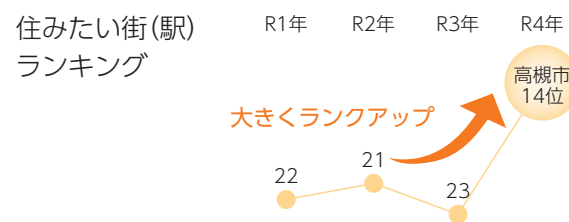
## 若い世代の転入者が増えています

ここ2年、市内に転入する人が市外へ転出する人よりも多いです。中でも30代と10代以下が多いという結果が出ています。

不動産会社調べの「住みたい街・自治体ランキング」の順位も上がってきています。高槻市は子育て世代から注目されていると言えます。



### 住みたい街・自治体ランキング 関西圏 (2府4県)



総合11位  
夫婦+子ども世帯では過去最高の7位

市長メッセージ

## 輝かしい高槻を 次世代へ



平成29年9月に「『みらいのための経営革新』に向けた改革方針」を打ち出してから、5年が経過しますが、この間、職員が一丸となり改革に取り組んでまいりました。

健全財政を維持しながら、医療、福祉、子育て支援、教育などの各分野において積極的に投資を行い、高槻の魅力を高めるまちづくりを推進してきましたが、その成果が実を結びつつあります。

しかしながら、輝かしい高槻を次世代へ引き継ぐには、現状に満足することなく、取り組みを加速させる必要があります。

市民の皆様には、高槻の目指す姿を共有しながら、引き続き高槻をさらに「成長」させる「みらい創生」のまちづくりを進めてまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高槻市長 濱田剛史